

梧桐会総会開催

5月14日(日) 於・大崎高校

梧桐会報

第46号

平成12年4月1日発行

発行所

梧桐会

事務局・東京都大田区多摩川

2-24-6-615 渡部良彦方

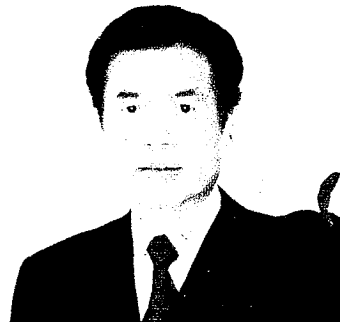
TEL/FAX 03(3756)7114

編集人 渡部良彦

集行所 川村日正印刷

印刷 川村日正印刷

ご挨拶



学校長 星野 佳正

梧桐会の皆さん、始めまして。この四月から、前任の柏原校長先生の後任として、赴任させて頂きました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

着任以来、創立九十周年を迎えようという、この名門都立大崎高校の伝統の重さを、今ひしひしと感じております。お蔭様で、七階建の新校舎が竣工し、戸越公園の緑を背

に、天高くそびえております。校舎は、学校としては、全国でも唯一の、免震構造になっており、安全安心を第一に心掛けて、設計されたと聞いております。

取り分け、心の育成を目指し、視聴覚室は、モダンな言わば、映画館のような雰囲気をもっております。五月の母の日の梧桐会の折には、ぜひご見学下さい。

ご挨拶



梧桐会 会長
川村 治

東京の周辺では桜の花も見頃を過ぎ、若葉の緑が一段と目に染みる季節となっております。また、梧桐会会員の皆様方には如何お過ごしでしょうか。日頃より同窓会の活動にご理解とご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、大崎高校では長年に渡る懸案事項で有りました校舎改築工事が、昨年の八月には今までの校庭に最新の免震

新校舎見学会を企画

構造を取入れた8階建ての新校舎が落成し、さらに旧校舎を取り壊した後、人工地盤のグラウンド建設が正に始まるようとしております。

同窓会「梧桐会」はご承知の通り、会員相互の親睦交流と併せて母校発展に寄与する事を目的として設立をされましたが、今年度も新たに二六九名の新会員を迎え、今日では会員数一七〇〇名を越え

る多くの会員を抱える組織に成って参りました。

実社会においては、色々な分野にて同窓生が活躍されていることを聞き、真に喜ばしい限りと思っております。

平成十二年も梧桐会総会を五月十四日(日)に母校にて開催致すべく、幹事一同が計画を練っているところです。

今年新校舎の落成につき総会の前と懇親会途中に新しい校舎の見学会も企画しております。

進路状況 (四月十日現在)

進学		就職	
四年制大学	東京商船大 一	鶴見大学 六	東海大学 三
都立保健科学大 一	青山学院大 一	東京家政学院 一	東京女子学院 一
亜細亜大 三	桜美林大 四	東京農業大学 一	桐朋学院大学 一
大阪工業 一	神奈川大 二	東邦大学医療 一	東邦大学医療 一
川村学園女子大 二	神奈川工科大 一	東横学園女子 二	東横学園女子 二
関東学院大 一	杏林大 二	日本体育大学女子 一	富士一 文京女子 一
京都文教大 一	国士館大 二	文化女子大学 一	文化女子大学 一
国学院大 一	静岡産業大 一	横浜女子 一	横浜女子 一
駒澤大 六	聖徳大 一	和洋女子大学 一	和洋女子大学 一
湘南工科大 一	大正大 二	専修・各種学校 計49名	
城西国際大 一	大東文化大 四		
尚美学園 三	拓殖大 二		
清泉女子大 一	千葉経済大 一		
大東文化大 四	鶴見大 一		
玉川大 三	東京経済大 一		
中央学院大 一	東京工業大 一		
帝京大 四	東京純心女子大 一		
東海大 一	日本大 一		
東京国際大 三	法政大 四		
東洋大 三	武蔵野女子大 二		
文化女子大 一	明治学院大 一		
武蔵野女子大 二			
明海大 一			

日時	5月14日(日) 12時30分(受付開始) 13時~16時
会費	1000円(新卒者は無料)
プログラム	会長の挨拶 学校長の挨拶 その他

昭和44年度卒同期会のお知らせ

春たけなわの季節となりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

このたび下記の要領で、都立大崎高校昭和44年度卒業生の同期会を開催することになりました。今年には西暦2000年、また卒業30周年ということで、今までは趣向を変えて企画しました。

つきましては、この機会に連絡を取り合って、是非ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記
日時：平成12年6月11日(日) 午後3時00分~5時00分
場所：東京都港区高輪4-10-30
品川プリンスホテル(JR線 品川駅前)
新館39F トップ オブ シナガワ(ノース パー)
TEL 03(3440)1111
会費：6000円

昭和38年度卒(39年3月卒)同期会のお知らせ

日時：平成12年5月14日(日)
場所：一次会 大崎同窓会会場
二次会 午後4時から
大森駅北口駅ビル
「ララ」5F
グランフォーレ
TEL 03(3776)9946
会費：6000円
幹事：川村 治 他

昨年の同窓会から



新校舎竣工

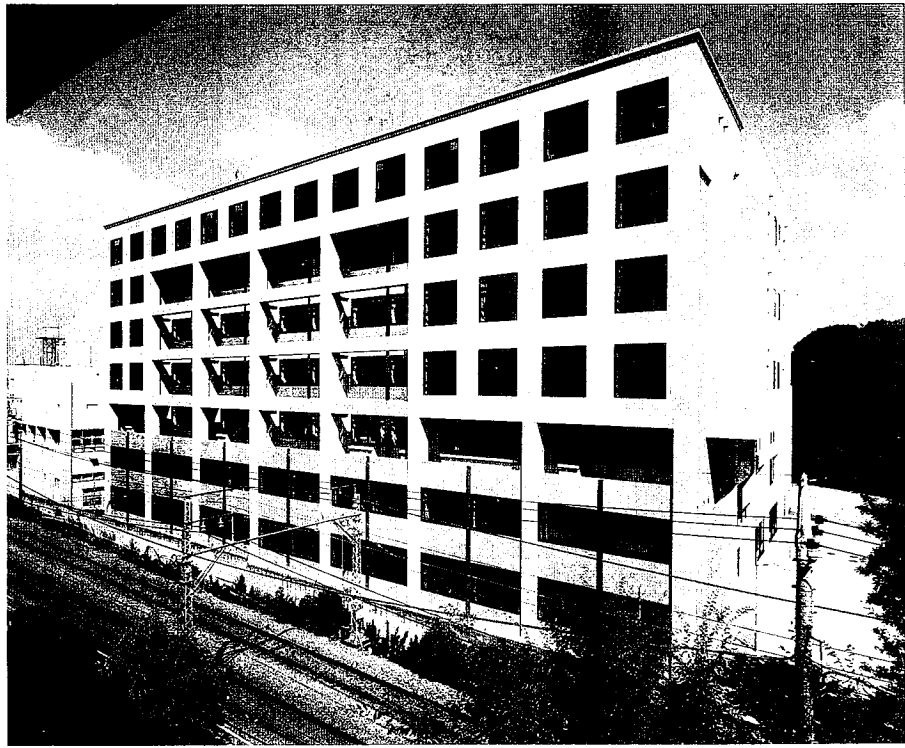
新校舎の紹介

改築委員長 山田 進

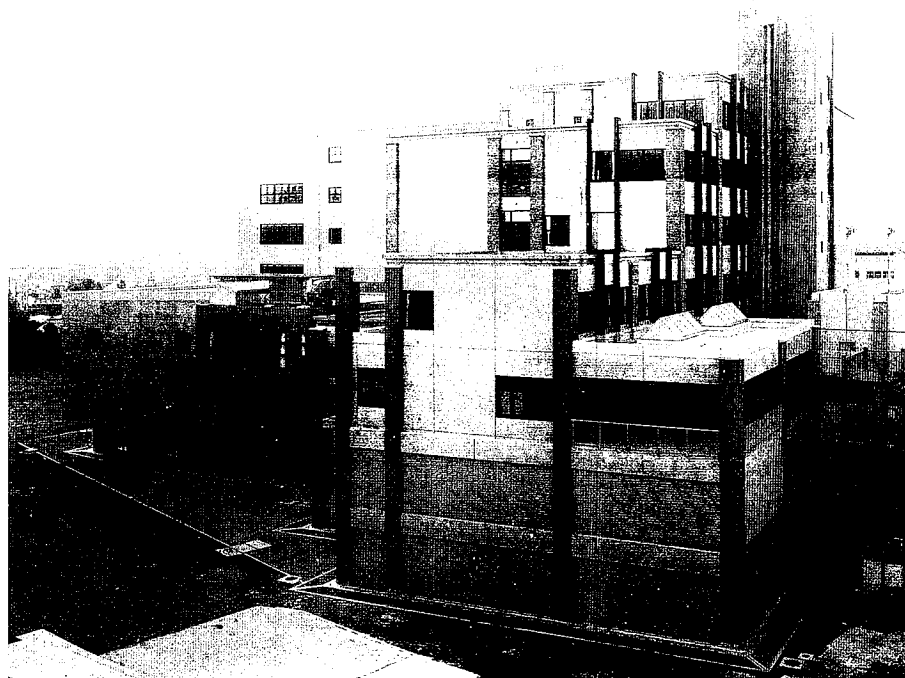
昨年の8月に新校舎が竣工し、それと同時に移転をして現在に至っています。今年の6月以降には、道路工事や人工地盤(校庭)の住民説明会が予定されていることから、補助26号線の全通に向けて、また一歩計画が進められたこととなります。

まずは、新校舎についてご紹介をします。建物の構造からいいますと、東京都でも2番目、高校としては全国でも

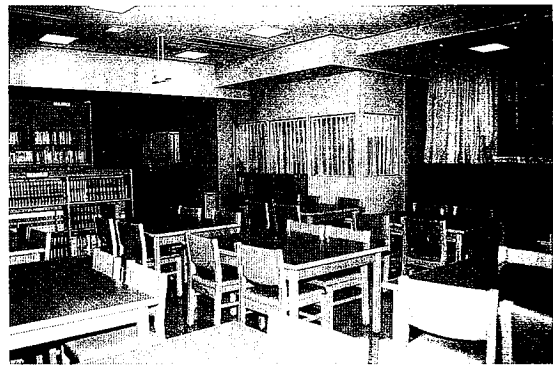
はじめての免震構造となっています。竣工以来、震度3を2度ほど経験していますが、洪積台地という比較的安定をした地盤の上に建てられているということもあってか、非常にゆくりと揺れ、数秒のうちには揺れが止まるなど、免震装置の効果がよく発揮されていると思います。地下の免震層、中層階と上層階の3箇所に地震計が取り付けられ、リアルタイムに集められたデータの分析がまられるところ



外観東南面



外観北西面



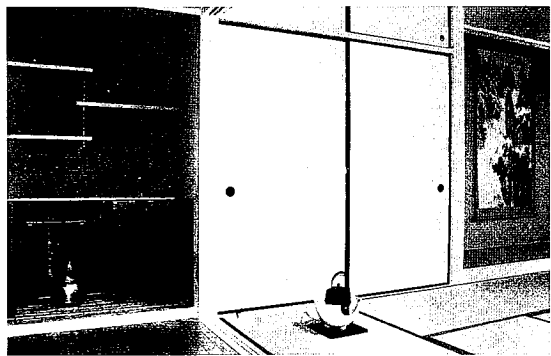
3階 図書室



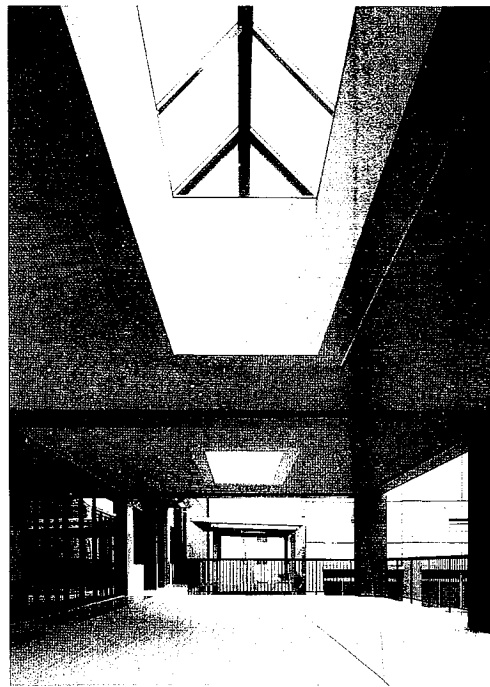
2階 パソコンルーム



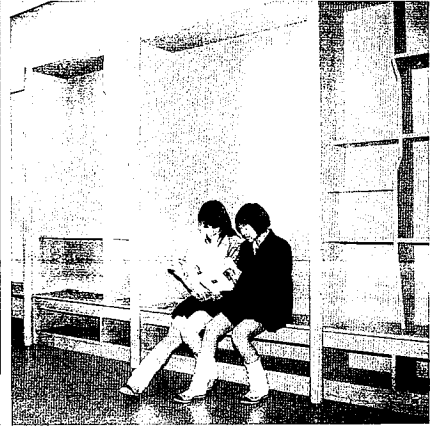
3階 昇降口アプローチ



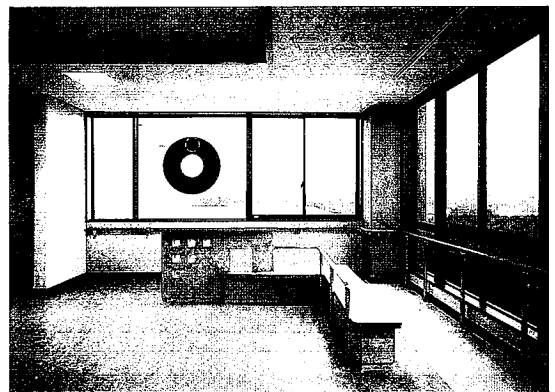
2階 和室



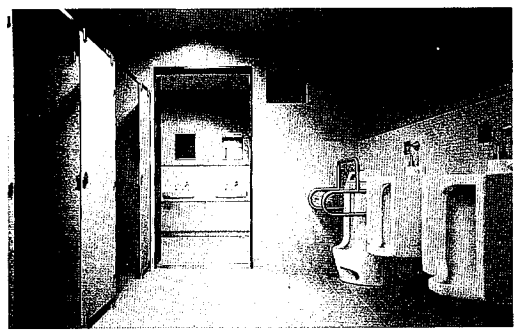
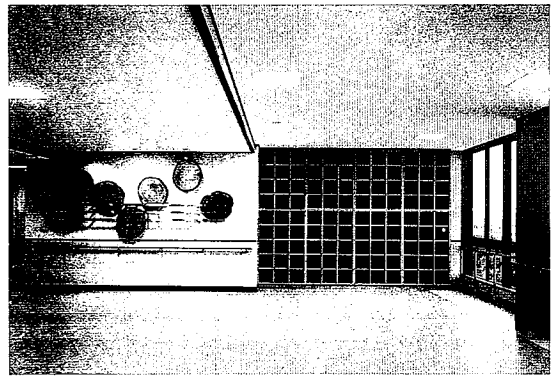
3階 昇降口アプローチ



5階西側 相談コーナー



↑7階 エレベーターホール 6階↓



基準階 男子便所

とコンピュータ制御によって廊下等の照明が消灯をすることで電力消費を抑えたり、水洗トイレの水は雨水を貯水して使用するなど、節約にも配慮をした校舎といえます。また、災害時に備えての貯水槽や自家発電装置も完備しています。

この他の特色のあるものといえば、26席十車椅子用の2席と200インチのスクリーンを備えた小ホール的な視聴覚室や、戸越公園の木々の借景をバックに木を基調とした落ち着いた感じのする図書室、生徒同志の交流や憩いの場となるホワイエや談話コーナーが4、5階の教室階の東端や西端に配置されています。

「百聞は一見にしかず」ではありませんが、7階のエレベーターホールからの東京湾方面の眺望をはじめとして西側には富士山、南側には横浜のランドマークタワーなどが廊下や教室などから見渡すことができます。

これだけにとどまらず、建物の入り口の段差をなくしたり、スロープをつけたり、さらに階段の段差を低く押さえるなどバリアフリーに配慮した校舎として、高齢者や身障者などが円滑に利用できる建築物の建築の促進に関するハートビル法に基づいて設計されているのも大きな特色です。

紙面の関係でご紹介できないものがこの他にもたくさんあります。卒業生の皆さん、一度お出かけ下さい。

部活仲間と会う日、同窓会



山口恵美子(樋田) (昭和42年度卒)
写真向って右が私です

十年一昔といいますが、卒業(昭和13年3月)して早や32年が過ぎました。長い年月がたつているのに、大崎で学んだ日々が、ついこの間のよう

私が高専時代は、部活(バレーボール部)が中心の生活でした。今も部活で一緒だった

名物男の結婚



ゆでたまごの会 (生物部OB会)

写真右・永井さん、左・新婦の王怡さん

いさか古いニュースですが、わが生物部OBの名物男が、長い独身生活に終止符を打ち、ついに結婚しました。彼

会員たより

同窓会に出席しはじめて、もう十年たつてでしょうか。会が終了後、その年によつて

若くて美しい新婦に、新郎の鼻の下が延びきつていたのは

同級生

村石 泉 (昭和60年度卒)

新年明けて、年賀状と共に母が「ねえ、ここに載っている人、同級生の〇君じゃないの?」と、差し出した大田区の

楽しみに家路へと向います。そして、毎年、話に出る事は、

井さんの結婚式ということで、滅多に会えない松本さんとゆ



〇君とは、生物実験の授業で席が隣でした。本来、名簿順で席が決めら

まだある。何の実験だか忘れたけど、セロハンテープを使

あつ、母が「なかなかいい男じゃない」と申しておりました。ハイ。

同窓会報に寄稿するにあたり、たまたま母が差し出した

そんな感じで、いつもちょっとかき出されていたことを

昭和52年度卒A組クラス会

田口 健司



99年11月7日、品川プリンスホテルにて、昭和52年度卒業

昭和四十一年度卒同期会 百名が相集ひ 盛大に開催さる 恩師五人も迎へて

ときは平成十一年十一月二十日、いにしへは海底に相違

その時代にあたり話をする

ちきれぬ吾人には、年毎の五月は第二日曜日、巷に



大崎高校に於ける 忘れ難き思い出

旧職員 河野 三郎

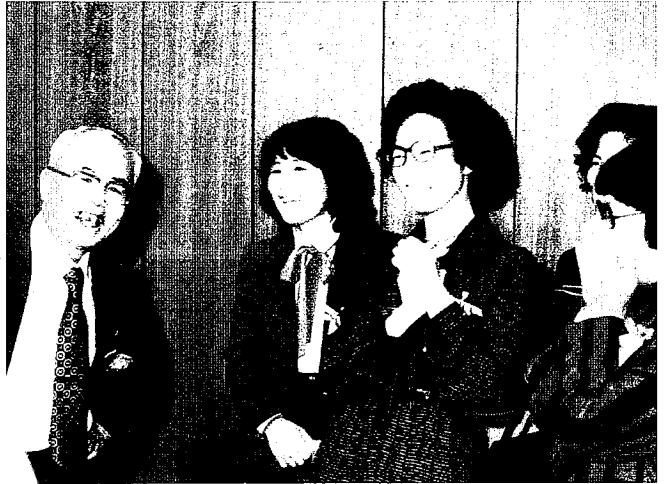
私は昭和32年9月から38年3月まで大崎高校に勤務していた英語の教員であるが、その前は民間会社の社員と、ところが同会社が今言うリスラを行ったため、解雇され、東京大合格者として一年間浪人生活のち、同大学の文学部に合格した者が唯の一人だけであった。私が学年主任をしていた昭和36年度の卒業生はよく頑張ってくれ、東大理科一に2名、京大理学部1名、東工大に2名、早大に13名、慶大に10名、都立大に3名、上智大に4名、立教大に3名、明治大に8名、芝浦大に2名、武蔵工大に3名、武蔵大に3名、聖心女子大に1名、共立聖心女子大に1名、学習院大に1名、日大に18名を始めとし、その他の大学にも多数の生徒が合格してくれたからである。

職員だより



旧職員 河野 三郎

私が大崎高校に勤務していたのは、今から44年前の昭和31年4月から7年間でした。現在は、地域で「高齢者の会」の会長を務めております。この会は、東久留米市公認28団体中最大50〜90才代約200名の会員数・活動サークルの種類も最多(15種)で、毎日を忙しく「高齢者であるが、老人ではない」をモットーに、楽しんで、元気に過ごしております。さて、このたびは、編集部からのご依頼により、私は「あたらし」ですが、「古い、昔の話」をさせていただきます。私が、学生時代(東京高師・東京教育大現在在、筑波大



「昭和36年度卒大崎三六回」昭和57年、品川区立勤労福祉会館にて

そして、そのうちの一人である大田君が富士フィルムを退職後、現在在米国のロチェスター工科大学の教授に就任した。写真技術開発の特殊技術教育のため、同大学から客員教授として招聘されているばかりでなく、千葉大学からも客員教授として招聘されていることは、現在私が四〇年近く以前勤めていた大崎高校時代に回顧するとき、忘れ難き思い出となっているものである。何故なら、大崎高校を卒業し

て4年間、夢中で頑張りました。全力を尽くした後の爽快な思い出しは、こんな私感、インテリカレッジで母校チームのレギュラーとして3年連続優勝に貢献できたこと。そして、今一つ、学生諸君のために付記するならば、「学校へ通っているのか、運動部に通っているのか」と批判されるような、つまり、授業をサボって練習をしたことはなかったということです。頑張った結果として、「からだづくり」と共に、インカレや国体、全日本などの競技も楽しみ、さらに、ヘルシンキ・オリンピック候補選手としての活躍まで、一応、選手生活もピンからキリまで体験できたことは、幸せでした。その後、日本体操協会の常務理事として、国内の各種競技大会、国際競技会にかかわって来ましたが、大崎高校に在任中は、第十八回近郊オリンピック・東京大会の運営にかかわり、多忙を極め

ておりました。1962年(昭和37年)の秋、東京オリンピック大会の勝利を目指し、選手強化の一環として企画された「第二回日ソ対抗及欧州遠征」体操選手団のジェネラルマネージャーとして同行しました。ソ連・東欧ヨーロッパなど13カ国20都市を、ジェット旅客機で地球一周分ぐらゐの距離を飛行したのです。(注1)日本の体操は、ローマ・オリンピック大会に始まり、20年間世界の王座に君臨し、相手はソ連しかありませんでした。(注2)「スポーツに国境なし」と言うのでしょうか。政治的には困難な時代でしたが、強い日本の体操は、世界のどこでも往來でき、幸せなことでした。(注3)今でも、印象に残る思い出話は、ソ連の一般通訳ヤヌシェフスキー(日本人)より日本語がきれいで上手という感じ)さんが、「世界に

の大田君の開発した写真フィルムに関する技術は、世界中のどの技術者の開発している技術より遙かに優れたものであり、従って、東大の教授といえども、開発すること不可能な輝かしい技術であると思われるからである。ところで、同窓会が盛になるか否かは、大学進学において他校より優れた成績を残すか否かに懸かっていると、私が大崎高校に勤めていた時代をピークとして、その後はあまり優れた成績もあがらず、そのため同窓会も盛況を欠くに至ったのではなかつたかと思うのである。

共産主義は未だない。共産主義国家が成就するのは、うまうまといつて30年後ぐらいだ」と話してくれたこと。皮肉にも、現実とは逆で、ソ連邦の分裂という結果で終わりました。(注4)印象に残った見学地①ロシアのバルチック艦隊の旗艦であるオローラ号が、レニングラド(サンクトペテルブルグ)に記念館として保存されています。②古代オリンピック滅亡の原因はいくつかあるが、その一つは、金製の月桂冠を、「エルミタージ」ネバ河の沿岸にあるロマノフ王家の宮殿に、エカテリーナ二世によって集められた世界の美術品が陳列されている。パリのルーブルより大きいと言われている。で見学することができました。③ブルジョアのコーカサス地方工場を見学したら、十数種類のシャパンを、一挙に試飲させられました。④日本の高速道路を走ったことがない私が、ドイツのアウトバーンを先に走行しました。⑤日本の東京タワーに一度も上ったことのない私が、パリのエッフェル塔に先上った上から見ると、又河は、すばらしい眺めです。⑥リスボンで、バスコダガマの船出した港を訪れたが、空や海の色、その美しさは、口や文字では言い表わせないすばらしさです。遠征から二年後、1964年(昭和39年)に、オリンピック・東京大会が開催されました。私は、体操競技会場である東京体育館の管理責任者として参加しました。「日本の体操は、」鬼に金棒、小野に鉄棒の小野選手を中心として、団体戦で優勝し、個人種目でも、前述の遠征の中心メンバーであった遠藤選手が優勝して、最高潮の時代でした。こうして、結果論ではありますが、二年間の強化遠征は、有終の美を飾ったわけでは

の卒業生がそれから二〇年余も経過した昭和57年11月14日に、品川区立勤労福祉会館で行ったところの「昭和36年度卒大崎三六回」に当時の卒業生のうちの半数以上が馳せ参じたばかりでなく、当時を懐かしむ二人の大崎高校の元校長先生を始めとし、当時の担当の元先生全員や、それ以外の先生方も多数馳せ参じてくれ、当時を懐かしみ、和気あいあいのなか、思い出話に花を咲かせてくれたからである。私は、この事実は私の心のなかに残っており、当時の卒業生や、当時大崎高校に勤務していた先生達が、その心なかに当時の大崎高校は、「良い時代であった」との思い出を持っていただけてはなからうかと思うと同時に、私は、私にとっても良い人生であった」と喜んでおられるのである。最後に、私は大崎高校と梧桐会の益々の発展を心から願っているものである。

梧桐会事務局からのお知らせ

住所変更のご連絡をいただく場合、以下の項目をお願いいたします。

- ①卒業年度(たとえば昭和51年3月の卒業ならば昭和50年度卒業となります)と3年次のクラス(わからなければ結構です)
- ②会員番号
- ③氏名(旧姓も)
- ④旧住所(念のため、電話では省略可)
- ⑤新住所(郵便番号から)
- ⑥(新)電話番号(こちらからご連絡することもあります)

の5点です。電話では以上のことを留守電に入れて下さい。郵便もしくはFAXの方が文字・数字に関する誤りが少ないと思いますので、よろしく願います。

〒146-0095 大田区多摩川2-24-6-615 渡部良彦方
梧桐会事務局 TEL/FAX 03-3756-7114

なお、事務局ではパソコンで名簿の管理を行っております。パソコンに詳しい方、お手伝いしていただける方、ご連絡下さい。あわせて、会報の編集委員も募集いたします。紙面を一緒に考えて下さい。お電話お待ちしております。

※封筒に貼ってあるラベルもしくは払込取扱票の住所・氏名・会員番号は事務局で打ち出しました。字の間違いなどございましたら、至急ご連絡下さい。5桁のナンバーは、会員番号です。

※最近、留守電に「無言電話!?!」が多くなっており、留守電に録音するのが苦手でしたら、せめてお名前と電話番号だけでも入れてください。こちらから折返しお電話致します。

教職員員の転退

退 職	柏原 哲 (校長)	松田和之 (数学)	高橋伊都代 (保健)	山崎友子 (英語)
転 出	角屋 章 (国語 日本橋高校)	吉田之彦 (地理 一橋高校)	佐久間曜一 (世界史 日比谷高校)	増田 幸 (家庭 新宿山吹高校)
新 任	沼尻晋二 (主事 矢口義徳学校)	星野佳正 (校長 佐々木高校)	中村庸子 (国語 青山高校)	加瀬達人 (日本史 小笠原高校)
着 任	小川博司 (世界史 青井高校)	三浦一康 (数学 三田高校)	浦井純子 (保健 葛西南高校)	五十野晴子 (英語 三田高校)
	本田和代 (家庭 一橋高校)	大根スミエ (養護 八潮高校)	池田太郎 (美術 広尾高校)	三浦綾子 (主事 九段高校)
	栗原宏幸 (主事 第三商業高校)	平泉ヨシ子 (主事 八潮高校)		

編集後記

◇4月20日(木)午後9時を少し回ったところ。曇り降っていた雨が、今は降っていません。昨日は急ぎの仕事で、(今日の)午前1時半に会社を出ました。そんなわけで、今日の作業になってしまいました。何時に終わるんだろうか。眠くなってきた。

新幹事(11年度卒)

A 加澤 明井上まどか	B 大見 光男 吉川 粧子	C 松本 祐輔 木村 笑美	D 大月 洋行 矢野 由夏	E 千葉 一将 長尾 綾子	F 蓬田 哲也 青柳恵美子	G 平山 貴教 谷口 明美
-------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

◇当然のように本号では新校舎のご紹介をしました。特徴ある場所の写真を、なるべく多く大きく載せました。これも足りないかと思われ方は、5月14日の総会へお出下さい(もちろん足りると思われ方も)。またとなないチャンスです。お子さんを大崎へ入れたと思う方は、必ず見てください。なみに、記事をご執筆頂いた山田先生は、私(50年度卒)が在任中、定時制で教えられていたことでした。

◇河野先生の時代の物凄い進学状況を、紹介しております。先生は、寄稿後、別便にて当時の進学状況の資料を送ってくださいました。実名入りで、こまごまと紹介されております。本号1面の進路状況と比べると、……。就職者も詳しく載っており、都市銀行をはじめ、皆さんのよく御存知の会社等がたくさん出てきます。本号に良い時代だったのです。

◇何ともあれ、皆さん、母の日には大崎高校で会いましょう。(なべちゃん)